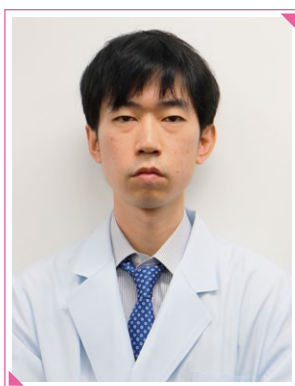


1月1日より、新しい医師が着任しました。



脳神経外科 医員

平松 拓

(ひらまつ たく)

出身大学

三重大学
(2015年 卒業)

専門分野

▶ 脳神経外科一般

資格

・日本脳神経外科学会:脳神経外科専門医

所属学会

- ・日本脳神経外科学会
- ・日本脳神経外科コンgres
- ・日本脳神経血管内治療学会
- ・日本脳卒中の外科学会
- ・日本頭痛学会



産婦人科 医員

加川 葉月

(かがわ はづき)

出身大学

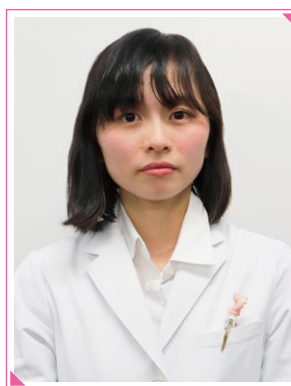
愛知医科大学
(2017年 卒業)

専門分野

▶ 産婦人科一般

所属学会

・日本産科婦人科学会



内科 医員

林 冴加

(はやし さえか)

出身大学

愛知医科大学
(2018年 卒業)

専門分野

▶ 内科一般

所属学会

- ・日本内科学会
- ・日本消化器病学会
- ・日本消化器内視鏡学会
- ・日本肝臓学会

次のページは、「救急救命士と搬送支援事業」について

Matsunami Information

NEWS

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

面会禁止、
夜間施錠について



発熱症状で
受診される方へ

来院前
にご確認ください



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。各お知らせの詳細は、左のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院柔道部の活動の一環として院内柔道場にて、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。右記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、右記の連絡先に事前にご連絡をお願いします。

※2023年1月より活動場所が笠松町中央公民館から文武両道館(笠松町旧こども館)へ変更になりました。

日時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時30分～19時00分
場所	文武両道館(笠松町旧こども館)
連絡先	058-388-0111(内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井

Clarix Engage Japan2022での表彰について

当院の医療情報システム「CSS」で使用しているClarix FileMakerの開発元Clarixから当院のFMDセンター所属の深澤 真吾さん(fukky)が表彰されました。今回で3年連続の受賞となります。

毎年、国内最大級のユーザーイベントとして開催されるClarix Engage Japanで、深澤さんはユーザーコミュニティに最も貢献したユーザーとしてClarix Community Leader of the Yearを受賞しました。



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、
「月刊まつなみ」の表紙でお試ください!!



ダウンロード・詳しい使い方は
こちらから!(リンク先は病院HPです)

社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>



重度の傷病者に対し救命処置を行う「救急救命士」 当院救急医療センターで活躍する救急救命士の取り組みをご紹介します。

病院救急救命士とメディカルコントロール

国家資格である救急救命士は、傷病者が病院に搬送～入院するまでのあいだに、症状の悪化を防ぎ、生命の危険を避けるための救急救命処置を行う役割を担っています。救急救命士は消防官として消防署に勤めることがありますが、医療機関に所属することも少なくありません。当院の救急外来には、7名の救急救命士が在籍しています。(2023年2月時点)

【救急救命士の役割】

救急救命士は、①医師からの具体的な指示を受ける、②家族への説明と同意を得る、という条件下で一部の医療行為を行うことができます。これらの救急救命処置を「特定行為(特定医療行為)」といいます。

【メディカルコントロール】

救急救命士がスムーズに特定行為にあたるように、「メディカルコントロール」というシステムがあります。メディカルコントロールとは、医学的な観点から、消防機関の救急隊員そして病院救急救命士が行う応急処置の質を高めるための体制整備や運用システムのことを指します。

メディカルコントロールの体制の構築

- ①救急救命士が、医師から素早く指示を受けられる体制づくり
- ②救急救命士の実施した救急活動を、事後検証する体制づくり
- ③救急救命士の知識・技能向上の教育体制づくり



▲ 松波総合病院メディカルコントロール協議会の様子。
 羽島郡医師会、行政、消防と共に運営しております。

これらを強化するため、県や地域ごとで検討するための協議会を定期的を開催しています。

また当院では、当院に所属する病院救急救命士の運用方針を決定するために、独自の協議会である「松波総合病院メディカルコントロール協議会」を開催しています。

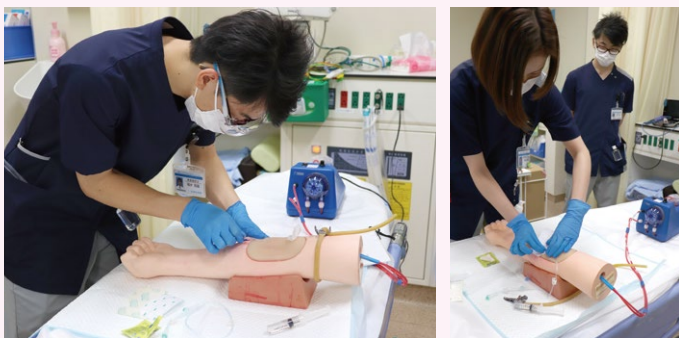
病院内での活動

救急救命士は、医師からの具体的な指示のもと、特定行為を行うことができます。今まで限定的な範囲のみでの活動でしたが、2021年10月の法改正により病院救急救命士の対応可能な範囲が増えました。随時、業務範囲を拡大しています。

- 医療器具を用いた気道確保
- 吸引器などを用いた異物の除去
- 患者への静脈路確保と輸液(栄養剤、薬液などの点滴対応)
- 血糖測定器を用いた血糖測定 などの「33項目」。

当院で今後拡大予定の救命処置

- 抜針後の「圧迫止血」
- 重症患者の静脈路確保
- 低血糖による発作患者へのブドウ糖溶液の投与
- 心臓機能停止状態の患者への薬剤(エピネフリン)投与



▲ 模型を使用した研修

他機関と連携した活動「地域救急搬送支援事業」

2022年より「地域救急搬送支援事業」を本格的に開始しました。

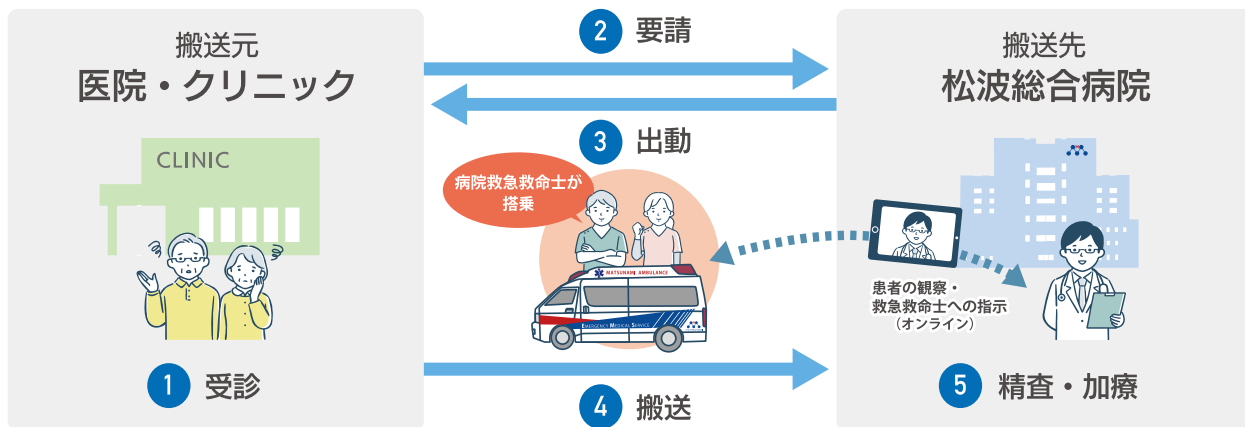
地域救急搬送支援事業では、当院と開業医をはじめとする医療機関の先生方が協働し、当院の救急車を使用した患者搬送を行います。本事業は新たな搬送手段を構築することで、消防救急車の適正利用の支援を目指しています。

当事業の条件として、医院やクリニック等を受診した患者さんのうち、急性期病院でのさらなる診察・治療を要するが『緊急搬送は要さない』と判断された場合に適応されます。対象の患者さんを、当院車両で迎向いたします。

救急車には、病院救急救命士が搭乗します。当院から現場へ出勤し、患者の搬送を行います。また搬送中は車内のタブレット端末を用い、webカメラを使用したオンライン上で医師による観察と救急救命士への指示を行います。

本事業の搬送中に、患者さんの容態が変化するなど緊急搬送が必要となる場合は、速やかに消防救急隊への連絡・連携を行います。到着まで病院救急救命士は医師の指示下で心肺蘇生術等の救命処置を行うなど、臨機応変な対応が可能です。

現時点での対象地域は、羽島郡(笠松町・岐南町)のみを対象としておりますが、順次エリアの拡大を予定しています。



対象地域 羽島郡(笠松町・岐南町)に限る **当院受付時間** 平日9:00～16:00(土日祝、年末年始除く)



スタッフ紹介



救急救命士
田嶋 美菜



救急救命士
山田 東吾



救急救命士
玉田 佳樹



救急救命士
福井 翔哉



救急救命士
山内 海斗



救急救命士
櫻井 勇騎



看護師
栗原 成郎
 資格
 ・診療看護師
 ・クリティカルケア認定看護師



医師
八十川 雄図
 資格
 ・日本救急医学会:認定専門医
 ・日本脳神経外科学会:認定専門医